

インパクトコンソーシアム×Social Impact Day共催
インパクトコンソーシアム
in person 2026

—インパクトの裾野拡大、その次の一步—

日時 **2026年6月19日** **金** 13:00～18:30

会場 文部科学省 東館 3階講堂 東京都千代田区霞が関3丁目2番2号
(個人会員の方) Webex

プログラム

第一部 パネルディスカッション

登壇者情報は
次頁をご覧ください

Session 1 民間資金が変える未来
— インパクト投資の新潮流と市場の広がり —

Session 2 インパクトファイナンスの加速
— 政府のコミットメントとイノベーションへの期待 —

第二部 成果報告会

Presentation
当コンソーシアムにおける1年間の議論及び今後の展望

交流会も実施!

PRから商談まで一気通貫！ 価値ある出会いを生む交流の場

法人会員が一堂に会する貴重な機会ですので、認知度向上や新規商談、戦略的提携の場としてご活用いただけます。

- 企業・団体・行政による最新の取り組みをご紹介するパネル展示
- 登壇者・参加者同士でのネットワーキングタイム

お申込みはこちら

<https://forms.office.com/e/56g1TsqKLQ>

※ 非会員の方も、会員登録いただくことにより、お申込みいただけます。
お申込み後にご案内をお送りいたします。



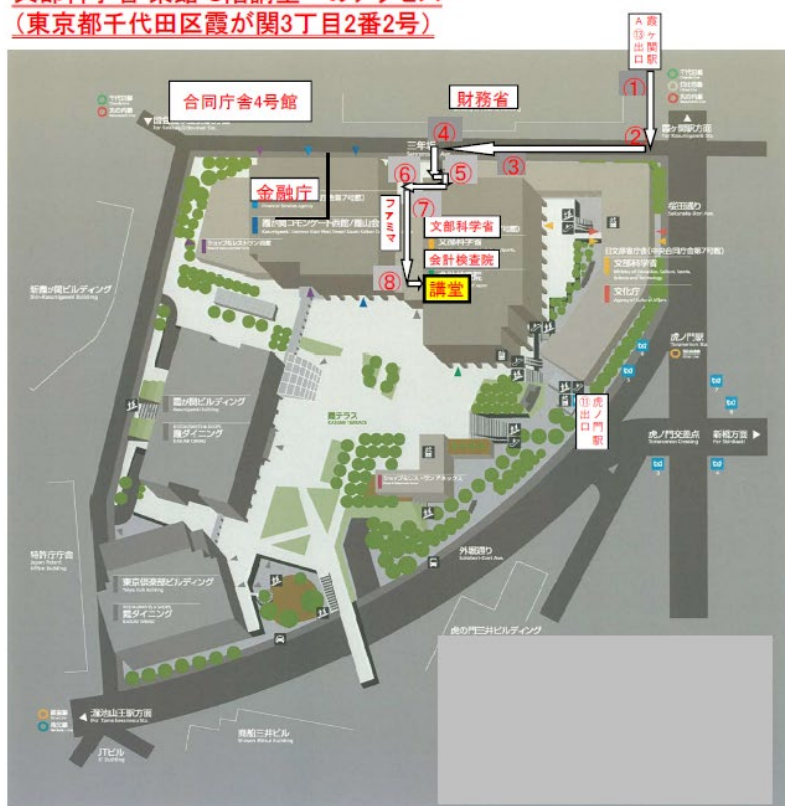
申込期限
6/10 (水) 17時

お問い合わせ先：info.impact-consortium@tohmatu.co.jp
事務局：金融庁・経済産業省

プログラムのご紹介（予定）

13:00-13:05	開会あいさつ（水口 剛 インパクトコンソーシアム会長）
13:05-13:15	オープニングスピーチ（金融庁／経済産業省）
第一部：パネルディスカッション	
13:20-14:00	Session 1：民間資金が変える未来 - インパクト投資の新潮流と市場の広がり -
	米良 はるか氏 READYFOR株式会社 代表取締役CEO／一般社団法人インパクトスタートアップ協会 代表理事 モデレーター 2011年に日本初のクラウドファンディングサービス「READYFOR」を立ち上げた。日本人史上最年少で「ダボス会議」に参加、「ヤング・グローバル・リーダーズ」にも選出される。これまで「新しい資本主義実現会議」などの有識者構成員を務め、インパクトスタートアップ協会の代表理事にも就任。
	青木 武士氏 株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ 代表取締役 パネリスト 関西学院大卒、ウェールズ大MBA。日立造船（現カナデピア）を経て、(株)エス・エム・エスにてM&Aやヘルスケア投資責任者を歴任。また訪問看護事業の運営など医療介護現場も経験。2016年、(株)キャピタルメディカ・ベンチャーズを設立。インパクトVCのパイオニアとして、現在は3本・計62.5億円のファンドを運用中。千葉大学客員准教授、インパクト志向金融宣言監事も務める。
	大関 洋氏 ニッセイアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長 パネリスト 日本生命保険にて取締役執行役員CIO（最高投資責任者）や米州・欧州総支配人を歴任。サステナブル投資の推進に注力しており、資産運用業協会の副会長も務めるなど日本の資産運用業界の発展に寄与している。
	桐原 健寿氏 株式会社肥後銀行 取締役常務執行役員 パネリスト デジタル部署の経験を経て、経営企画部長、執行役員 デジタルマーケティング部長を歴任し、基幹系システム刷新や地域DXを牽引。また、企業のCO ₂ 排出量可視化・削減支援に向け「炭削くん」構築を主導し、環境・社会課題の解決にも尽力。地域企業のサステナビリティ経営高度化に注力し、持続可能な地域社会の実現に幅広く貢献している。
	小崎 亜依子氏 一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA） 出資事業部長 パネリスト サステナブルファイナンスの専門家として、日本総合研究所や金融庁でESG投資戦略の立案や政策策定に従事した経歴を持つ。現在は休眠預金を活用し、社会課題解決と経済的自立を両立させる「インパクトファースト投資」の市場創造に取り組んでいる。
14:05-14:45	Session 2：インパクトファイナンスの加速 - 政府のコミットメントとイノベーションへの期待 -
	安部 敏樹氏 株式会社Ridilover 代表取締役 モデレーター 09年に社会問題をツアーで共有するプラットフォーム『リディラバ』を設立。現在は教育旅行・企業研修・メディア事業の他、社会課題解決へ資源投入を行なう事業開発・政策立案も行う。22年5月、かんぼ生命・コモンズ投信と協業し「コモンズインパクト・ファンド～共創～」を開始。社会的インパクト評価と運営を担う。
	朝日 健介氏 農林水産省 農村振興局 農村活性化推進室長 パネリスト 平成19年東京大学法学部卒、農林水産省に入省。食の安全対応、農業金融、地域ブランド製品の振興・保護、漁業保険、農業競争力強化、予算取りまとめ等の各種対応を経て、令和6年4月から現職。（その間、財務省主計局で東日本大震災の復興財源確保や、在フランス日本国大使館で農産物の輸出促進等も経験）現在、農村活性化推進室長として、中核都市からの人材の呼び込み、農山漁村と企業の連携等による官民共創の促進等に從事。
	伊奈 友子氏 経済産業省 中小企業庁 商業課長 パネリスト 通商産業省（現：経済産業省）入省後、中小企業庁調査室長、商務・サービスグループ物流企画室長／消費経済企画室長、内閣官房内閣広報室企画官、製造産業局ものづくり政策審議室長、中小企業庁創業・新事業促進課長など、特に中小企業・ものづくり政策分野を多く担当。現在、まちづくりや地域課題の解決に取り組むローカル・ゼブラ企業の政策推進を担当している。
	植竹 朋子氏 環境省 地域政策課 地域循環共生圏推進室長 パネリスト 2005年環境省入省。自然系技官として白神山地の保護管理や国立公園の満喫プロジェクトなどに従事した経験を持つ。現在は「ローカルSDGs」とも呼ばれる地域循環共生圏の旗振り役として、地域の資源を活かした持続可能なまちづくりや、地域脱炭素を支える人材育成の推進に注力している。
	宮沢 正知氏 国土交通省 国土政策局 総合計画課課長 パネリスト 2001年（平成13年）に国土交通省に入省後、まちづくりや、PFI（行政と民間が連携した公共施設整備）、鉄道政策などの業務に従事。また、アメリカの大学に留学中は、アメリカの商店街再生など街の活性化について調査。現在は、日本の国土の将来ビジョンを担当し、地域生活圏の形成や官民連携による持続可能なまちづくりの旗振り役を担っている。
14:45 -15:30	休憩・交流会
15:30-15:35	ミッドセッションスピーチ（金融庁）
第二部：成果報告会	
15:35-17:05	第2期の成果報告（各分科会、勉強会）～フロアとの質疑応答
17:05-17:10	閉会あいさつ（渋澤 健 インパクトコンソーシアム副会長）
17:10 -18:30	交流会

文部科学省 東館 3階講堂へのアクセス (東京都千代田区霞が関3丁目2番2号)



・駐車場は用意しておりません。



① 霞ヶ関駅A13番出口
(財務省を右手に直進)



⑤ 階段を上ったところ



② 交差点を右折(写真の建物は文部科学省)



⑥ ファミリーマート手前の自動ドアから入る



③ 文部科学省と金融庁の間にある車庫入口
手前の階段を上る



⑦ 左奥に講堂入口がある
(この位置からは見えない)



④ 階段を上り、自動ドアへ向かう



⑧ 講堂入口から入りエレベータで
講堂に向かう